

<第4575回>

目的地：富士見台（恵那山系）

担当者：高岡

実施日：2025年2月22日（土）～23日（日）

形式：雪山ハイキング

費用：約13,000円-（JR米原駅発着、交通費・山小屋代・共同食代）

参加者：5名

行程：

22日（天気：やや曇りのち晴れ）

JR米原駅レンタカー店(8:15)⇒(10:45)神坂神社登山口(11:15)→古代東山道入口(13:45)→(15:02)萬岳荘 [17:30 夕食 20:00 就寝]

23日（天気：快晴）[5:30 起床・朝食]

萬岳荘(7:47)→神坂小屋(8:23)→(8:37)富士見台高原(8:47)→神坂小屋(9:00)→(9:38)神坂山(9:47)→(10:06)萬岳荘(10:46)→(12:39)神坂神社登山口(13:55)⇒(14:10)湯ったりーな屋神(15:50)⇒JR米原駅レンタカー店(17:30)[解散]

感想：

直前的大雪で「高速道路が通行止めになるのでは」「登山口まで雪で行けないのでは」と心配していましたが、両方とも問題はなく、例会が施行できたことをメンバー全員で喜んでのスタートとなりました。

登り始めると、思った以上に雪が深く急坂でもあるので、すぐにアイゼンを装着。その後急坂を昇り詰めると、割と平たんな道が続くのですが、食材にシュラフにガスに水に・・・とザックが重いのと、雪が多く踏み抜かないようにとゆっくり目に歩いて進みます。途中曇っていた空がだんだん青く晴れはじめ、明日への期待が膨らみました。

ようやく本日の宿泊場所である萬岳荘に到着。冬季は閉鎖していて、宿泊は予約制。薪ストーブと石油ストーブでぬくぬく過ごせる！と思っていたのが、どちらもすぐには使えず、準備に時間がかかり、寒い寒い時間をしばらく過ごしました。その後は3台のストーブを使用して共同食をつくり、暗闇に浮かぶストーブの火を見ながら食べておしゃべりする楽しい時間。また、トイレに出た時に見た、降るような星の美しさは素晴らしいものでした（萬岳荘のある阿智村は「日本一星が輝いて見える場所」）。

翌朝は朝から抜けるような青空。頂上の展望に期待を膨らませ、ワカンを装着して出発。登っている間ずっと青い空、白い雪に囲まれ「きれい～」との声がメンバーからあがります。風が無かったのがラッキーでした。

富士見台に到着すると、頂上が台地状になっており、360度周囲を見渡せました。「あの山はどこ？」「御嶽山」「あれは？」・・・などスマホアプリを見ながら会話がはずみます。その後、十分に景色を堪能しながら神坂山に登り、萬岳荘へ戻りました。荷造りして下山すると、晴れて雪が溶け、地面が見えているところもありました。

登山口まで降りて、その後は近くの温泉に入り帰宅の途につきました。

特記：

神坂神社駐車場

・無料で10台程度。天気がそれほど良くない土曜日の10時30分ごろで、残り2台ほど。早めに行くことをお勧めします。

萬岳荘

・予約制で予約後、入室の鍵番号を教えてください。

・薪ストーブと石油ストーブがあり、薪代として一人 1000 円支払います。今回薪はあまり乾いておらず、太いものが多かったのもので、室内にあるナタで細く割った方が燃えやすいですが、なかなか割れずかなり苦労しました。石油ストーブは今回は自分たちで灯油を入れる必要がありましたが、専用のポンプを見つけられませんでした。次に行かれる方は予約する際に置き場所を確認することをお勧めします。